



# 米艦載機の訓練基地は拒否せよ

## 日本共産党が防衛庁に要請

日本共産党の九州・沖縄、中国、四国の代表は11月13日、在日米軍再編に基づく米空母艦載機のための訓練基地建設が計画されている問題で、防衛庁と防衛施設庁に抗議。米側の建設要求を拒否するよう要請しました。

要請には、仁比聡平参院議員、赤嶺政賢衆院議員(代理)、春名なおあき元衆院議員(参院中国・四国・九州・沖縄)、中林よし子元衆議院議員(衆院中国)、田村貴昭党衆院比例九州・沖縄国政対策委員長、笹岡まさる党衆院比例四国国政対策委員長、藤本さとし氏(参院広島)が参加しました。

以下、要請書の全文を紹介します。



防衛庁長官・久間章生殿

2006年11月13日

日本共産党衆院比例九州沖縄ブロック事務所  
同 中国ブロック事務所  
同 四国ブロック事務所

### 【要請の主旨】

複数の報道によれば、「米軍厚木基地(神奈川県)の空母艦載機が太平洋上の硫黄島(東京・小笠原村)で暫定実施している夜間離着陸訓練(NLP)など陸上空母離着陸訓練(FCLP)をめぐり、米国側が恒常的な訓練施設を山口県の米軍岩国基地から百カイリ(約百八十キロ)以内で選定するよう日本側に要求していることが分かった」とされている。そして、「日本側は・・・岩国基地から百カイリ以内を含め幅広く検討した上で、複数の候補地を来年三月に提示すると理解を求めた」とされ、日本政府が検討すると見られる内容として、「岩国基地の沖合に浮体式のメガフロートを設置 瀬戸内海の広島県旧沖美町(現江田島市)の大黒神島に滑走路建設 など、過去に浮上した構想を再検討すると見られる」、「航空自衛隊築城基地(福岡県)も岩国基地から百カイリ以内に位置しており、検討の対象になる可能性がある」と報道されている。



また、山口県平和委員会の調査では、米海兵隊岩国基地の滑走路沖合い移設事業が完成したら、新滑走路に、戦闘機が着艦訓練する模擬空母着艦照明装置が設置される計画であることが明らかになっている。これらのことが具体化されることは言語道断である。われわれは、今回の米軍再編そのものに反対であり、岩国や築城など関係自治体や幅広い住民が粘り強く反対運動を続けている。今回の報道に対しても、すでに関係地域の住民や自治体からも強い反対の声があがっている。11月5日付「中国新聞」は、「理不尽にすぎる要求だ」と題する社説を掲げている。

米軍再編・強化につながるこれらの策動を直ちにやめるよう強く求める。

### 【要請項目】

- 1、米側の離着陸訓練施設の要求を拒否すること。
- 2、岩国基地の新滑走路に、模擬空母着艦照明装置の建設を中止すること。